



### 今秋の收穫樂觀されて 産米大暴落

大浦農業倉庫に於ける昨十日の厄日たる二百十日が例年五日の俵米共同販賣は出荷になく中程に過ぎるの後も二六〇俵、うち四等標準米 天候順調であつたため憂慮二八俵で最高七圓二十錢をされた今秋の收穫が非常に以て落札されたが前日に比し樂観するに至つた結果でし實に三十三錢の安値であつたが之は案じられた農家

### 官公衙協力して 寄生虫驅除宣傳

來月施行の寄生虫豫防週間に  
平署、役場大童への普及宣傳  
健康被保險者に対する保健  
施設として十月一日から一  
週間實施される寄生虫豫防  
週間中平署役場と平署では  
並に蛔虫驅除を實施すべき  
工場鐵山の業主に對し之が  
豫防に關する思想普及のた  
めパンフレット約三萬枚を  
配布したる上更に蒸便の  
採取及 發送蛔虫驅  
除藥の服用方法を實施し  
郡下各工場で講演會及び新  
動寫眞會を開催し之が主旨  
宣傳並に豫防法の實施につ  
き目下準備中である

### 家出駈落

二ツの搜索願  
千葉縣香取郡神崎町小松  
三六山城岩松長男清は此  
家出したが同人はかつて箕  
輪村の叔父の許にゐたこと  
があるの或は亦同所に潜  
伏してゐるのではないかと  
十六日懸賞金五十圓附で實  
又から中署に搜索方を願ひ  
出た

### 兒童教育を さらに實際的に

平第二小學校では從來の兒と共にと共に平常の授業中  
童教育方法より更に實際的にもこの資料を利用して理  
教育を徹底せしめる目的で論と實際の上に立つ理想的  
義務一片の學校教育から他教育方法の  
H社會に出て參考となるべ  
き實際的資料を蒐集し  
校内に 一定の常設  
之に要する多数の資料蒐集  
隊列馬を設けて右の參考資  
料を兒童のため自由に展覧  
試みか如何なる成果をも

と駈落したが平町方面  
へ入り込んだ形跡あると  
十六日地主から平署へ搜索  
られてゐる

### 青訓の 合同演習

平町中心に  
右城郡青年訓練所聯合會で  
は來る十一月月中旬平町を中  
心として郡下青訓合同の大  
演習を行ふことを去る十三  
日の郡青訓所主事會議に  
於て決定したので近く之に  
就き諸般の準備協議をなす  
事である

### 災害復舊工事 中間検査

園村技師來平  
昭和四年度災害復舊工事新  
出川筋大野村大字下柳生字  
の巢飲食店半壊する方地所は目下順調に進捗して  
姉館野政子(元)は去る十日がこの中間検査のため十  
前借六百圓を踏倒して借夫八日内務省園村技師來平  
なる同郡江川村中山善三郎等

### 給水料金滞納の 差押へ物件公賣

あす正午から平町水道部で  
平町水道部では六年度四五  
六の三ヶ月間公設水道給  
水料金滞納者九十七名(滞  
納額一四五圓三〇錢)に對  
しさきに財産差押への處分  
をなしてゐたが猶豫期日  
追つても更に納付する者も  
ない有様なので期十七日正  
午から水道部内に於て斷然  
公賣に附することとなつた  
が僅か一圓内外の滞納金額  
に對し差押へ物件は僅第一  
重などが最も多数を占めて  
ゐると

### 宿料を踏む

湯本の山形屋御難  
湯本(三)は去る一日湯本町  
山形屋旅館に東京市本所區  
向島地味株式會社菊美屋株  
式會社役員と稱して投宿し  
十九圓餘の宿賃を不拂のま  
で逃走したと届出により  
平署で捜探中である十四日  
町新出町地内を徘徊中取押  
へ目下取調中である

滞納玉代を嚴重催促され  
平町料理屋組合泣き出す  
藝妓屋組合への負債二萬圓也

### 増え れ口

自惚屋と云  
ふのは自分  
に惚れるお  
目出度い野  
郎のことだ、自惚根性と云  
ふ奴は大工の氣と梅毒氣の  
ない者はないと云はれる程  
誰にも多少の持合せがある  
ものなぞうだが自惚屋は其  
の特別の持主なんだ、誇大  
妄想狂の一種で世間から三  
文の價值もなしと見られて  
ゐるものを自己の非常識で  
學問があると自惚れ、名士  
に劣らぬ文士の様に自惚れ  
大家と肩を並べ、辯士の  
様に自惚れ其他何も彼も  
自分から馬鹿に見えてな  
らぬから彼が馬鹿に見えて  
ない方から自惚れを知らな  
い方ならず恥を知らない  
分けて青年に起る女にかけ  
ての自惚れは一再ならぬ  
鐵にも惚れるを悟らす宛ら  
尾期に於ける犬の如き醜態  
を演ずる自惚れ發生の旺  
盛期を命令で云へば二十四  
五才が止まりであらう三十  
を越えても此氣があるなら  
ば餘程の附被けであり大間  
拔であると思つてよし

### 町村自治と 森林經營

H A 生  
森林と暴風、それから森  
林は暴風の障壁となるから  
海岸では潮風や砂埃などの  
防ぎに缺くことの出来ない  
もので我が國のやうに四方  
海をめぐらした土地では海  
岸一帯に防風林を造つて牛  
活の安全を圖ることが殊に  
必要である、  
森林と水の關係、森林を  
濫伐した結果非常の洪水  
を起したり又は旱魃に苦し  
められることは既に一般の  
常識を傳はつて地上に落ち  
るが如く其の實例が随所  
に見られるけれども一旦は落  
葉或は落葉又は樹根などに  
支へられて徐々に流れ出る  
餘を發す動定になる

# 農業

## 秋播甘藍の栽培法(二)

石城農 矢ヶ崎 技手  
試分場

濕氣は適當に含有してゐることは必要であるが排水不良で水分の停滞して居るところでは腐敗病の誘因となるから注意しなければならぬ。

一、品種、甘藍の品種には早、中、晩によつて種々あるけれども當地方に適當する品種は石城分場に於ける品種比較試験の成績によれば水田裏作用の如き極早生種としては中野早春、早生種としては豊田早生、中野早生、中生種としては野崎中生、サダヤ中生等が適當である晩生種としてサクセツシヨンの如きものもよろしい。

石城分場に於ける試験成績は左記の通りである、品種野崎中生、形状稍扁圓、大正十三年反當收量九一三貫、同十四年一四二貫、昭和元年七五〇貫、同二年八一八貫、平均九〇六貫  
品種サダヤ中生、形状扁圓、大正十四年反當收量八七六貫、昭和元年六四八貫、同二年六二六貫、平均七二七貫、形状稍扁圓、大正十三年反當收量五四九貫、同十四年八一〇貫、昭和元年五一八貫、同二年五二八貫、平均六〇二貫

## 秋の子帽の御用意

### 大衆向の堅實な色型 ヤルツ

平四電一〇四

ガソリン モビール油 日本石油 株式会社

特約販賣 油問屋 關内商店

支店 郡山市 電話三三二八  
支店 茨城県 電話三三二八  
支店 茨城県 電話三三二八

出張所 平町四丁目 郵便局前

突煙ろく強 程す肺に露雨

煙突は 朝日

石綿セメント 朝日煙突

経済的で 火災の心配がない

金屋商店

開業院

福島縣平町大町(新川端)

内一般科 醫學博士 難波睦

電話五〇二番

清々しい 食堂裝飾

と日本間の新設備

平公團 表坂前

一度お出で下されば皆様に御満足のお親みをキツト頂け様と思ひます

サエのよい女給も揃へました

御調理もおいしーお安く致します

郡内廿四ヶ町村の囑託により 六月一日より輕費診療を開始

輕費診療科目 内科、小兒科、外科、性科、皮膚科、産婦人科、物理療科、耳鼻咽喉科、X光線科

診察料 輕費診療 五十銭 本會費 無料

薬價(一日) 輕費診療 十五銭 本會費 無料

入院料(分) 本會費 一圓以上

院長 醫學博士 石山 鎌郎  
本院主 醫學士 澤田 忠治

磐城共濟會(電話六四一番)

晴々しい奇麗なお座席で お味美い御料理を 召上りませ

新装の食堂設備を ご覧下さい

平町新道通り 藤彦食堂

電話二九四番

病體改造

カイソネーチャ療法の新出現

海草蒸熱療法なるが故に従來の物理療法と異り各種病症に特效あるは既に定評が有ります

論より証據あらゆる難病者は即時御實驗を乞ふ

特許中山式 (平町大町電話三七二番)

カイソネーチャ磐城分院

吉田五平

矢野恒太序 大内民彦著

服部宇之吉

教育 改革 概論

發行所 東京市丸の内 日本評論社

取次所 石城 郡内 郷村報社

本書は會て本紙にも掲載せる大内民彦氏の提議を以て、諸君の現代の教育制度、學理と實際、歴史と實踐とから考察が及ぶ一國の大精神を説く國民必讀の書

諸毒下しの大妙藥

安流丸

服んで良くとく (絶対に胃腸を害さぬ)

淋病と 消渴の 特效藥 濟淋

平町一丁目 本舖 責任製劑 水野藥局

電話八八七六

ライト 寫眞館

平町松尾小路 電話五三五番